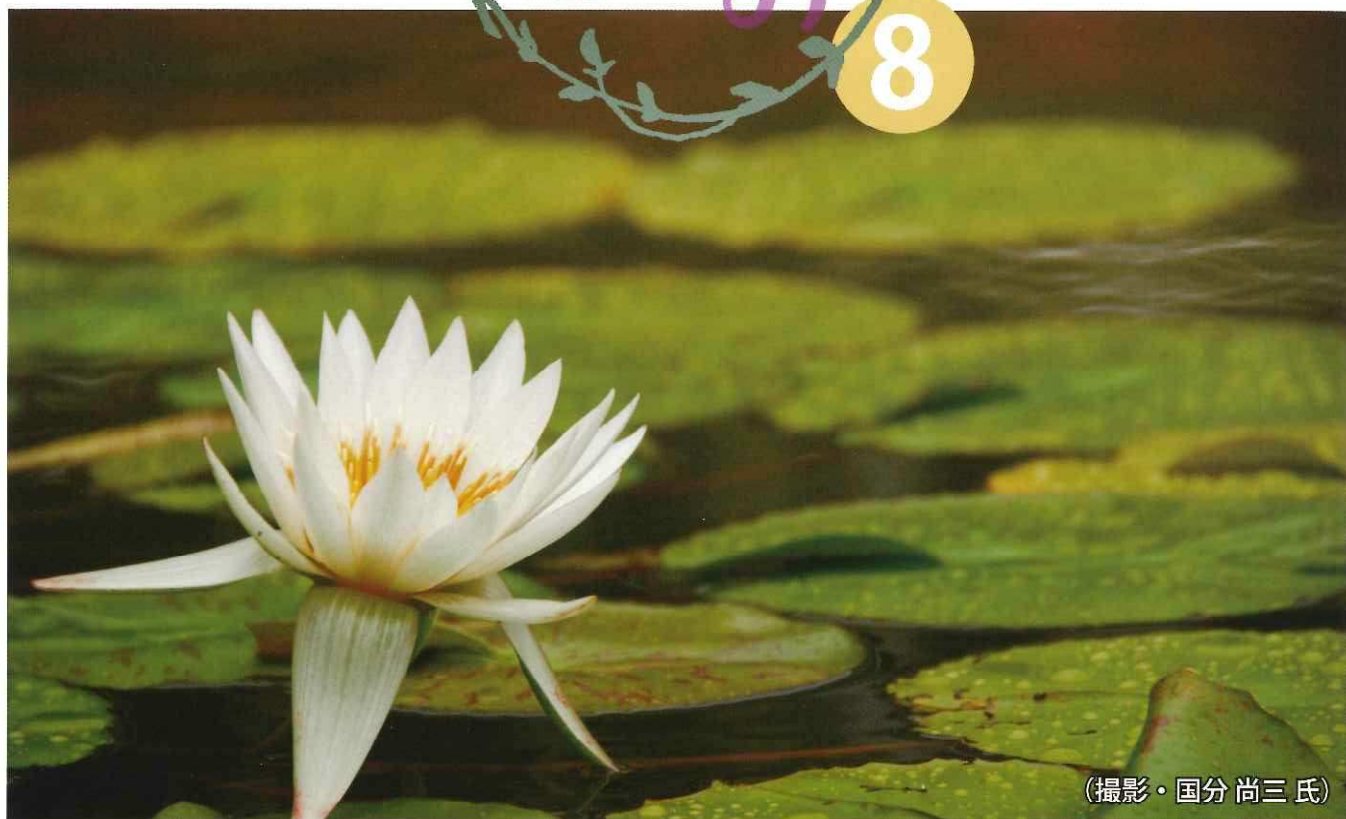


南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(撮影・国分尚三氏)

凝り固まった視点

通知表をもって子供達が帰宅。いよいよ夏休み、子供達のテンションは急上昇だ。

うちの子はどうも宿題はさっさと片付けて遊ぶタイプらしい。一年生の娘が朝顔を持って帰ってきた。夏休み中に2枚の観察プリントを書く課題。早速、終業式の夕方、朝顔を前に座った。昼間の炎天下に晒された朝顔は見る陰も無い無慚な姿。朝顔の観察は朝に限ると思っているから驚いた。頑固な娘は親の忠告も聞かずにスケッチを始めた。しばらくして、枯れた花をどう描くのか興味津々にのぞき込んだ。期待を裏切って彼女が描いたのは花を咲かせた後の種を抱え込んだ青い実だった。そして枯れた花を見ながら、「朝咲くからさあさがお」なんだね」と娘の一言。正直、そんなことも知らなかったのかと笑ったが、朝咲くから観察は朝と誰が決めたのだろうか。朝顔の主役が花だと決め込んだ眼には朝顔そのものは観察出来ない。自分の思い込みは自分では気が付けないと改めて頷かされる。

時には知っていること、知ったことが却って視野を狭くするんだろう。知ったことに執れることは避けがたく、自分ではいかんともし難い。知らず知らず観察力は衰退し驚きが減少していく。見慣れたはずの朝顔、顔だけ見て観察したつもりになっているお粗末な受け取りであった。

(山崎 哲 記)



5ブロック主催 『本山佛光寺御正忌報恩講』 団体参拝旅行のご案内

すでに『えこお』5月号に掲載しました、京都・本山佛光寺における「親鸞聖人御正忌報恩講」団体参拝旅行のご案内をあらためて申し上げます。

本山佛光寺では11月21日～28日の8日間、親鸞聖人の祥月ご命日をご縁として「御正忌報恩講」が厳修されます。西徳寺としましては27日(日)の午後、大師堂^{だいしどう}でお勤めされる「大逮夜法要」^{おおたいや}に団体参拝をいたします。夜は雄琴温泉に宿泊し、皆様との懇親を深めたいと思っております。

翌日は滋賀県・長浜市にある渡岸寺^{どうがんじ}観音堂に安置される国宝「十一面観音像」の拝観や、国宝「彦根城」の見学や紅葉の名所を満喫するなど充実した内容になっております。皆様、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

尚、詳細につきましては、参加される方に行程表(時間・ホテル)やお支払い方法等についてはあらためてご案内致します。

記



期 日・平成28年11月27日(日)～28日(月) 1泊2日

費 用・45,000円

(昼食2回、夕食1回、朝食1回、夕食時は飲物含みます)

行 程・11月27日(日)

東京駅出発9:20(新幹線)＝京都駅着(バス移動)＝かめや本家(昼食)
＝本山佛光寺・御正忌報恩講団参(14:00大逮夜参拝)
＝雄琴温泉・琵琶湖グランドホテル17:00着(泊)

11月28日(月)

琵琶湖グランドホテル出発8:30＝国宝・彦根城(入場・お土産)
＝彦根キャッスルリゾート(昼食)＝渡岸寺観音堂・国宝・十一面観音堂
＝米原駅発(新幹線)15:58＝東京駅着18:10着

募集人員・定員40名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込先・西徳寺 電話03-3875-3351(担当・木村主任)



親鸞さんのことば

故法然聖人は、

浄土宗の人は愚者になりて

往生すとそうらいしことを、

たしかにうけたまわりそうらいし

『親鸞聖人御消息集』上

松井憲一

運動会で一位になれなかった小4の孫が、帰宅して、「走る時、他人と比べたらあかん。昨日の自分と比べて、すこしでも早くなつておればいいんだつて」と嬉しそうに祖母に報告しました。「他と比較せず自分と比較せよ」とは、児童の成長を願う先生の励ましの言葉として、当を得ています。しかし、同じ言葉を人生の下り坂にいるわれらに当てはめると、昨日できたことが今日できないとかえつて落ち込むことになります。人間の知識は、相対的で、真理とはほど遠いから、「できること 減つて増えたな ありがとう」と、できることが減ったおかげで、子供の頃から多く

の方々に助けられてきたことが知らされた、「ありがとう」の一言であつたと頂くには、法(真理・道理)に遇つて、自分の愚かさに目覚めるほかないのでありましょう。

わたしたちは、自分の姿を正当化してすこしでもよく見せようとしますから、人それぞれで意見の違いがあるのは当然なのに、それすら認めようとしません。そして、相手の「違い」は、「間違い」として、聞く耳さえもたないような生活をしています。そのような私たちに、呼びかけている言葉が、「愚者になりて往生す」という法然上人の教えであります。

京都に帰られた親鸞聖人は、お念仏の教えを伝えるために関東の門弟たちにたくさん消息(手紙)を書かれました。その中でも、「故法然聖人は、浄土宗の人は愚者になりて往生すとそうらいしことを、たしかにうけたまわりそうらいし」とは八十八歳の時に書かれた最晩年の消息です。そして、このお手紙には「えませたましい(ほほえまれた)」法然上人のお姿と共に「いまにいたるまで、おもいあわせられそうらいしなり」と書かれています。親鸞聖人が法然上人に出遇い、聞法されたのは二十九歳か

ら三十五歳までです。法然上人の仰せは、「往生の業、念仏を本と為す(『教行信証』引用の『選択本願念仏集』)」ですから、その仰せと共に五十年も、あたためながら「念仏を本と為す」とは、「愚者になりて」ということであつたといつも確かめておられたのでしよう。だから、「愚者になる」というお念仏の大切さを関東の門弟たちに伝えようとしたのでしよう。

「愚者」とは、教養の有る無しや人間性の善し悪しという愚かさではありません。欲望にとらわれて、嘘をついたり、ごまかしたり、不都合なことを隠したりして、自分を見失い、都合の悪いものを排除し、他人や社会を傷つけ悲しみますような愚かさです。高い地位にある人でも状況によつては、会社の存続にかかわるような危機に貶め、自分も失職して家族や社会を崩壊させてしまうような、人間であることの愚かさをいうのでしよう。

「愚者になる」とは、そのようにしか生きられない根源的な愚かさをよく知ることですが、自分の愚かさは、自分でどれほど反省し懺悔しても知り尽くすことはできません。愚者になれないわたしたちが、自

分の姿に目を背けることなく愚者になるには、親鸞聖人が「如来誓願の薬は、能く智愚の毒を滅する也(如来誓願の薬は、人間の知恵と愚かさの毒をよく滅するのである『教行信証』)」といわれるように、智も愚さもともに毒であるという、如来の眼に照らされるしかないのでありましよう。

南無阿弥陀仏を申せという、如来誓願の薬を服膺して、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と愚者になれる道を歩まさせていたきたいものです。



(撮影・国分 尚三氏)

葉言の門山

理にかなうとは 身にかなうことである



理（道理）とは、辞書によると、物事の正しい道筋、筋が通っていることである。

先日、本山佛光寺において、年に一度開かれる、「式務衆講習会」に参加させてもらった。式務衆とは本山における法要儀式に出勤し、勤行の主軸をなす団体のことである。私も四年ほど前から所属をし、法要の作法や佛光寺派独自の声明を学んでいる。

その講習会において、特別講師として、真宗大谷派の先生を招いて、発声方法や法要に対する姿勢を教えていただいている。講義の中で、理にかなった発声をするのが大事であるとおっしゃられた。

具体的には、低音は胸で響かせ、中音は口の辺りを響かせる。そして高音は鼻腔を響かせる。これを

無視して声を出せば、喉を痛め、耳障りな声となる。

どれだけ声を出しても疲れなところか、発声している人、聞いている人双方の身も心も快く、豊かになるのが本当の理にかなった声であると聞いて、非常に驚いた。

大声を出そうとすると、どうしても力を振り絞って喉から頑張つて声を出そうとする。力を抜こうと意識すればするほど、逆に力んでしまう。物事の正しい道筋に素直に随えない自分の姿が現れているように思う。

仏教で明らかにされる私たちの身の事実は、生老病死である。この世に生を受けた者は漏れなく老い、病を患い、そして命を終えていく。これが我々のはからいを超えた、疑いようのない道理で

ある。

年を取らないように、病気にならないように日々健康に気を配り、異変があれば、すぐに医者へ駆け込む。私自身の日頃のありかたは、果たして身も心も豊かで、快い生き方をしているといえるだろうか。

私の考えや努力にかなうのではない。生老病死していく、この身の道理に素直に頷けない。肩の力を抜くことが容易にできない、そういう私のすがたに気づく時、初めて理にかなう生活が開かれるのだと思う。

（蓮井 邦宗 記）



評議員会総会報告

去る6月19日(日)、午後3時より西徳寺本堂におきまして「平成28年度西徳寺評議員会総会」が開催されました。来賓として総代会から4名の方をお招きし、評議員21名参加のもと行われました。

竹内乾一郎会長の挨拶では11月に実施される五ブロック主催旅行「本山佛光寺御正忌報恩講団体参拝」のお誘いがあり、脇阪住職からは日頃から護寺発展のためにご尽力いただいている皆様へ感謝の言葉が述べられました。

総会では竹内会長が議長を務め、すべての議案が承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、ほとんどの役員さんが留任され、新しく幹事として林元宣様・加藤晃司様が就任されました。青柳庄一責任役員からは平成27年度西徳寺会計決算報告があり、皆様にご理解をいただきました。

総会終了後、西徳寺会館2階「梅檀の間」で懇親会を開き、加藤廣副会長の司会のもと、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

(木村 専正 記)



日誌

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| 6月14日 | 責任役員会議 |
| 6月15日 | 婦人会聞法会 |
| 6月18日 | 定例聞法会 |
| 6月19日 | 評議員会総会(参加者25名) |
| 6月22日 | 『唯信鈔』に聞く 講師 宗 正元師 |
| 6月23日・24日 | 本山・布教使講習会(山崎・高橋・仲井参加) |
| 6月24日・25日 | 常照会布教大会(第八次聞法推進員・木村主任参加) |
| 6月25日 | 社交ダンス練習会 |
| | 混声合唱団「エコー」練習 |
| | 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 高橋 淳 |
| 6月26日 | 城東ブロック会総会・聞法会(人形町・香港美食園 参加者28名) |
| 6月27日・28日 | 宗祖忌 |
| 7月2日 | 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 蓮井 邦宗 |
| 7月7日 | 中国曲芸の魅力に迫るⅢ(西徳寺 本堂) |
| 7月7日・8日 | 中興忌 |
| 7月13日～16日 | 孟蘭盆会 |



※8月の婦人会だよりは休刊です。

掲示板

平成28年 8月

6日(土)	午後1時	社交ダンス練習会
	午後3時15分	混声合唱団「エコー」練習
13日～16日		孟蘭盆会
21日(日)	午後2時	RARA KORUSO 演奏会
27日(土)	午後1時	社交ダンス練習会
	午後3時15分	混声合唱団「エコー」練習
28日(日)	午後5時半	青年会主催バーベキュー大会

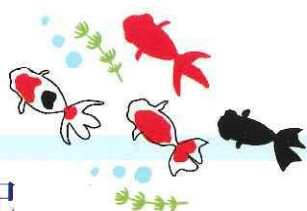
城北ブロック会総会・聞法会

去る6月12日(日)、川口文化センターリリアにおきまして、城北ブロック会総会・聞法会を開催いたしました。今回は22名の会員の方にご出席していただきました。

総会では、事業報告・事業計画、並びに会計報告・予算案が審議され、28年度の活動方針が決定されました。

聞法会では、「龍樹菩薩 二 ～一切が救われていく道～」というテーマでお話いただきました。法話の中で、どれだけ多くの修行をしても、自力で救われることは困難である。そんな私に、実は他力易行の道、救われる道がすでに与えられているのだと、教えていただきました。

次回は**平成28年11月20日(日)、大塚・大和田**におきまして聞法会を開催いたします。テーマは「天親菩薩 一 ～響き合う世界～」です。大勢の方のご参加をお待ちしております。
(蓮井 邦宗 記)



えこお志お礼

宮崎県 専寿寺 様
三重県 東光寺 様
台東区 飯高 多嘉子 様
三郷市 青柳 ちヨ 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



編集後記

お盆のお参りの際、かつて足繁く聴聞に来られていた方と久々にお会いしました。現在は身体が不自由になられ、一人では外出がままならないとのことでした。健康な時は気にも止めなかったが、ご自分が車椅子の生活になり、生活のあらゆる面に障害を感じているとのことでした。

バリアフリー化が叫ばれて久しくなりましたが、健康者の目では気づかない部分がまだまだ残されていることに改めて気づかされました。
(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(メールでも結構です)

✉ saitokuji@ce.wakwak.com